

機体名称 _____ 式 _____ 型      テスト No. _____		
パイロット氏名 _____      パイロット重量 (含装備) _____ kg		
試験場所 _____		試験区分：    最大重量条件 最小重量条件
試験項目	内 容	結 果
1) 離 着 陸	特殊な技術を必要とせずに離着陸できる。	YES    NO
2) 速度範囲	徐々に速度を増加したとき最大速度は48km/h以上である。 徐々に速度を減少したとき最小速度は32km/h以下である。	km/h, NO km/h, NO
3) 縦の静安定	・穏やかな大気中で、速度を大きく増減することなく、手放して10秒以上安定した飛行ができる。	YES    NO
	・トリム速度からコントロールバーを徐々に押し出していたときに、ノーズを下げようとする傾向がある。	YES    NO
	・上記のとき操作力は増加する。	YES    NO
	・トリム速度からコントロールバーを徐々に引き込んでいったときに、ノーズを上げようとする傾向がある。	YES    NO
	・上記のとき操作力は増加する。	YES    NO
4) 縦の動安定	最小速度から超過禁止速度までの全速度範囲において、操作力を徐々に解除したときに、過度な動揺を繰返すことなく、通常の滑空速度に復帰する。	YES    NO
5) 横、方向の静安定	直線飛行中、操作力を完全に解除したときに過度のロール、ヨーの動揺又は横滑りをすることなく直線飛行を続ける。	YES    NO
6) 横、方向の動安定	機体をバンクから中立に戻したときに過度のロール、ヨーの動揺又は横滑りをすることなく通常の滑空姿勢に復帰する。	YES    NO
7) 失速特性	失速特性は、穏やかで、スピンに入る傾向を修正できる。	YES    NO
8) 操 縦 性	・左右交互に45度バンクの8字旋回をしたときに、過度の横滑り又はピッチングの傾向がなく、運動は円滑である。	YES    NO
	・超過禁止速度において、ロール、ピッチ又はヨーの動揺の特性が特殊な技術を要せずに修正可能である。	YES    NO
9) そ の 他	飛行中タッキング又はラフダイブに入りやすく安全な状態が維持される。	YES    NO

(次ページに続く)

備 考					
試験年月日	天 候	風 向	風 速	気 温	気 圧
年 月 日			m/s		hpa
使用速度計：			同取付位置：		
[ 特記事項 ]					
-----					
-----					
-----					

テストパイロット・サイン \_\_\_\_\_